



背景

- ▶ 森林面積95% 豊かな森林資源を持ち、木曽ひのき産地として木材産業を支えてきた。
- ▶ 『木工の東大』上松技術専門校があり、毎年全国から木工を志す若者が集まる。(40人/年)

現状の課題

- ▶ 木材需要の低下や低賃金化により担い手が不足し、整備されない森が増加。
- ▶ 上松技術専門校を卒業した若者が、町に定住できない。(就職先がない)

事業の目的

CO2排出量削減

森を守る

持続可能な町

- ▶ 地域材を活用した『**持続可能な**』『**脱炭素の**』森づくり
- ▶ 木工起業の場を創出し、若者の移住定住を促進する

これまでの取り組み

- 2018年：地域おこし協力隊制度を活用し、上松技術専門校の卒業生2名で木工部を設立。
- 2019年：ふるさと納税の返礼品にて協力隊の木工製品を運用・PRをスタート。
町の商店街の空き店舗をリノベーションし、家具ギャラリーを整備する。
- 2021年：累計9名の技専校OBを協力隊として受け入れ。木工による地域おこしを継続中。

↓ リノベーションした協力隊の工房



↓ 地域おこし協力隊として活動



これまでの取り組み



↑ 空き店舗を家具ギャラリーに



↑ 地域材を活用した商品開発

事業内容

持続可能な森の

6次産業化

の仕組み化をします

1次産業

育て・収穫する

(林業)

2次産業(上流)

木を貯める

(製材業)

2次産業(下流)

家具を作る

(家具製造)

3次産業

地域内外へ
販売する

地域材を
地域内で
製品化して
炭素固定



脱炭素!



長野県
上松町

『森の6次産業化』による持続可能な脱炭素の森づくり

木エスタートアップ工房 WOOD WORKING VILLEGE AGEMATSUプロジェクト



事業内容 ②

①地産地消の森づくりプロジェクト

- ・地域広葉樹製材所の整備
- ・人材育成（自伐型林業、製材業）
- ・間伐材、林地残材の活用



②木エスタートアップ工房プロジェクト

- ・木工起業で若者の挑戦を創出
- ・「木工×〇〇」な働き方実現（コワーキング型シェア工房による複業起業）
- ・地域材を活用した新たな特産開発



③木エファブラボ工房プロジェクト

- ・デジタルなものづくり拠点
3Dプリンター、レーザーカッター、NCミリングマシンetc.
- ・子供の創造性を育む場づくり（10年、20年後のものづくり人材育成）
- ・地域間連携した教育体制（企業や大学生インターンとの連携）



④インキュベーション拠点プロジェクト

- ・アイデア、知識、技術の集積
- ・大学生インターン事業
- ・企業のサテライトオフィス機能
- ・業界、地域を越境した繋がり創出
- ・町内での新規事業を生み出す



※上記事業は状況により寄附いただいた企業様へご相談の上、追加・変更となる場合があります。

脱炭素

木曾の森を守り
森の若返りを実現して
CO2吸収効果を保つ

若者の雇用創出

地方で挑戦する
若者の移住定住
雇用創出を実現

子供の創造性創出

未来のものづくりを担う
地域の子供たちの
創造性を育てる

つながり創出

木工・ものづくりを軸に
人が集まり多様性のある
つながりを生み出す

新規事業創出

多様な関係性から
イノベーションを生み
新たな事業を創り出す

企業の
みなさまに
求めるもの

【企業の皆さまにお願いしたいこと】

▶企業版ふるさと納税での寄附協力

（地方創生事業の財源）

寄附をする
メリット

【企業の皆さまのメリット】

R4年度制作予定

▶上松町特設Webページでのご紹介（企業インタビュー記事掲載）

▶脱炭素事業への参画、貢献のPR

▶新規事業展開へのつながり（インキュベーション拠点への参画）

お問い合わせ先

上松町企画財政課企画政策係

Tel : 0264-52-4901

Mail : machiduk@town.agematsu.nagano.jp